



# 2023年3月期 第2四半期 決算補足資料

---

2022年11月9日  
株式会社ベネッセホールディングス

# 【第2四半期】セグメント別連結業績（対前年同期）

(単位：百万円)

	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	増減	増減率(%)
国内教育	105,194	104,100	▲1,094	▲ 1.0
Kids & Family	35,145	31,602	▲3,542	▲ 10.1
介護・保育	63,426	65,136	+1,710	+2.7
ベルリッツ	13,109	—	▲13,109	—
その他	530	1,090	+560	+105.5
<b>売上高合計</b>	<b>217,405</b>	<b>201,929</b>	<b>▲15,475</b>	<b>▲ 7.1</b>
国内教育	10,254	10,861	+607	+5.9
Kids & Family	2,996	901	▲2,095	▲ 69.9
介護・保育	4,048	1,392	▲2,655	▲ 65.6
ベルリッツ	▲1,948	—	+1,948	—
その他・調整額	▲2,378	▲2,527	▲149	—
<b>営業利益合計</b>	<b>12,972</b>	<b>10,628</b>	<b>▲2,344</b>	<b>▲ 18.1</b>
<b>経常利益</b>	<b>10,539</b>	<b>8,327</b>	<b>▲2,211</b>	<b>▲ 21.0</b>
<b>親会社株主に帰属する 四半期純利益</b>	<b>5,580</b>	<b>5,448</b>	<b>▲132</b>	<b>▲ 2.4</b>

注) 当第1四半期連結会計期間より、ベルリッツ事業を構成していたBerlitz Corporationについて、当社の保有する全株式を2022年2月14日付で譲渡し連結の範囲から除外したことに伴い、報告セグメントからベルリッツ事業を除外しております。

# 【第2四半期】売上高 / 営業利益の主な増減要因 (対前年同期) Benesse

(単位：億円)

売上高の増減要因	国内教育		「進研ゼミ」	延べ在籍の減少等による減収、価格改定等による増収等	▲42
			学校向け教育事業	小中学校事業の受注増による増収、高校事業の模擬試験受験者数減少による減収等	+2
			塾・教室事業	東京個別指導学院の在籍数減少による減収、鉄緑会の在籍増等による増収等	▲0
			大学・社会人事業等	留学事業、Udemy受注増、入学前教育等	+30
	Kids&Family	こどもちゃれんじ	日本	延べ在籍数の減少等による減収、価格改定・コンサート事業の回復等による増収等	▲2
			海外	中国のゼロコロナ政策により事業活動を一時停止したこと等による延べ在籍数の減少等 為替のプラス影響	▲47 +17
		生活関連等	たまひよ事業の減収等	▲3	
	介護・保育		ホーム延べ入居者数の増、(株)ハートメディカルケアの連結子会社化等による増収等 ※		+17
	ベルリッツ		Berlitz Corporationの株式譲渡による同社の売上高の剥落		▲131
	その他		直島事業の増収等		+5

営業利益の増減要因	国内教育		「進研ゼミ」	減収による減益、教科書改訂費用の剥落や販売費の削減等の費用減	▲3
			大学・社会人事業の増収による増益等、学校向け教育事業のコスト増、塾・教室事業の減収による減益等		+9
	Kids&Family	こどもちゃれんじ	日本	コスト削減等による増益、減収による減益等	+2
			海外	減収による減益等	▲21
		生活関連等	減収による減益等	▲1	
	介護・保育		販促強化、水道光熱費等の増加、入居介護事業における増収による増益等		▲26
	ベルリッツ		Berlitz Corporationの株式譲渡による同社の営業損失の剥落		+19
	その他・調整額		DX関連投資、直島事業の増収による増益等		▲1

※2021年6月1日付で、(株)ハートメディカルケア (株)プロトメディカルケアより2021年12月に商号変更) を連結子会社にしました。

## 2022年5月12日公表の見通しより修正

(単位：百万円)

	2022年3月期	2023年3月期 (見通し)	増減	増減率(%)	2023年3月期 (5月公表)	前回差	増減率(%)
売上高	431,943	417,000	▲14,943	▲3.5	426,000	▲9,000	▲2.1
営業利益	20,167	21,500	+1,333	+6.6	25,000	▲3,500	▲14.0
営業利益率 (%)	4.7	5.2	+0.5	—	5.9	▲0.7	—
経常利益	15,404	16,500	+1,096	+7.1	19,500	▲3,000	▲15.4
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,064	11,500	+10,436	+980.6	13,500	▲2,000	▲14.8
為替レート (対US\$) (円)	109.84	128.00	+18.16	—	118.00	+10.00	—

# 【通期見通し】セグメント別連結業績

(単位：百万円)

	2022年3月期	2023年3月期 (見通し)	増減	増減率(%)
国内教育	212,128	209,900	▲2,228	▲1.1
Kids & Family	71,238	70,700	▲538	▲0.8
介護・保育	127,397	134,300	+ 6,903	+ 5.4
ベルリッツ	20,074	-	▲20,074	-
その他	1,105	2,100	+ 995	+ 90.0
<b>売上高合計</b>	<b>431,943</b>	<b>417,000</b>	<b>▲14,943</b>	<b>▲3.5</b>
国内教育	19,085	20,400	+ 1,315	+ 6.9
Kids & Family	1,718	1,400	▲318	▲18.5
介護・保育	8,013	6,700	▲1,313	▲16.4
ベルリッツ	▲2,799	-	+ 2,799	-
その他・調整額	▲5,851	▲7,000	▲1,149	-
<b>営業利益合計</b>	<b>20,167</b>	<b>21,500</b>	<b>+ 1,333</b>	<b>+ 6.6</b>

(単位：百万円)

	2023年3月期 (5月公表)	増減	増減率(%)
	216,600	▲6,700	▲3.1
	73,200	▲2,500	▲3.4
	134,100	+ 200	+ 0.1
	-	-	-
	2,100	-	-
<b>売上高合計</b>	<b>426,000</b>	<b>▲9,000</b>	<b>▲2.1</b>
	22,500	▲2,100	▲9.3
	3,500	▲2,100	▲60.0
	7,400	▲700	▲9.5
	-	-	-
	▲8,400	+ 1,400	-
<b>営業利益合計</b>	<b>25,000</b>	<b>▲3,500</b>	<b>▲14.0</b>

# 【通期見通し】売上高/営業利益の主な増減要因（対前年同期）

(単位：億円)

売上高の増減要因	国内教育		「進研ゼミ」	延べ在籍の減少等による減収、価格改定等による増収等	▲82
			学校向け教育事業	高校事業の模擬試験受験者数減少等による減収、小中学校事業の受注増等による増収等	▲4
			塾・教室事業	鉄緑会の在籍増等	+6
			大学・社会人事業等	留学事業、Udemy事業、入学前教育の受注増等	+58
	Kids&Family	こどもちゃれんじ	日本	価格改定・コンサート事業等の増収、延べ在籍数の減少による減収等	+0
			海外	中国のゼロコロナ政策により事業活動を一時停止したこと等による延べ在籍数の減少等 為替影響	▲49 +36
		生活関連等	たまひよ事業の増収等	+8	
	介護・保育		ホーム延べ入居者数の増、物価高騰に対応した入居介護の価格改定等による増収、(株)ハートメディカルケアの連結子会社化等による増収等		+69
	ベルリッツ		Berlitz Corporationの株式譲渡による同社の売上高の剥落		▲200
	その他		直島事業の増収等		+9

営業利益の増減要因	国内教育		「進研ゼミ」	減収および為替の影響による減益、教科書改訂費用の剥落や販売費削減等	▲7
			大学・社会人事業および塾・教室事業の増収による増益、学校向け教育事業の減収による減益等		+20
	Kids&Family	こどもちゃれんじ	日本	コスト削減、減収及び為替の影響による減益等	+14
			海外	減収による減益、ロックダウン対応費用発生等	▲22
		生活関連等	増収による増益等	+5	
	介護・保育		増収による増益、労務費・水道光熱費等各種費用の増加、販売強化等		▲13
	ベルリッツ		Berlitz Corporationの株式譲渡による同社の営業損失の剥落		+27
	その他・調整額		戦略予算等		▲11

(単位：百万円)

	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	増減	増減率(%)	構成比(%)
高校講座事業	6,270	5,314	▲955	▲15.2	5.1
中学講座事業	15,287	13,397	▲1,890	▲12.4	12.9
小学講座事業	32,522	31,126	▲1,395	▲4.3	29.9
学校向け教育事業	22,112	22,313	+200	+0.9	21.4
塾・教室事業	21,288	21,205	▲82	▲0.4	20.4
大学・社会人事業	6,968	9,865	+2,896	+41.6	9.5
その他	744	877	+133	+18.0	0.8
<b>国内教育計</b>	<b>105,194</b>	<b>104,100</b>	<b>▲1,094</b>	<b>▲1.0</b>	<b>100.0</b>

(注) 当第1四半期連結会計期間より、「国内教育事業」の販売実績の集計方法を変更しております。「国内教育事業」の「学校向け教育事業」と「その他」の集計方法を変更し、「塾・教室事業」及び「大学・社会人事業」を別掲しております。この変更に伴い、前第2四半期連結累計期間についても組替えを行っております。

(単位：百万円)

	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	増減	増減率(%)	構成比(%)
国内こどもちゃれんじ講座事業	10,122	9,790	▲332	▲3.3	31.0
海外こどもちゃれんじ講座事業	14,292	11,822	▲2,469	▲17.3	37.4
その他	10,730	9,989	▲741	▲6.9	31.6
<b>Kids&amp;Family事業計</b>	<b>35,145</b>	<b>31,602</b>	<b>▲3,542</b>	<b>▲10.1</b>	<b>100.0</b>

※「その他」には、こどもちゃれんじの周辺事業（コンサート事業等）や、生活関連事業（たまひよ事業等）などが含まれております。

# (参考) 「進研ゼミ」「こどもちゃれんじ」延べ在籍数 Benesse

(単位：万人)

	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	増減	増減率 (%)
高校講座	67	56	▲11	▲16.9
中学講座	223	190	▲32	▲14.6
小学講座	774	726	▲48	▲6.2
合計	1,065	972	▲92	▲8.7

(単位：万人)

	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	増減	増減率 (%)
国内こどもちゃれんじ講座	457	414	▲43	▲9.5
海外こどもちゃれんじ講座	719	614	▲105	▲14.6
合計	1,176	1,028	▲148	▲12.6

(注1) 延べ在籍数は、各年4月から9月までの月次在籍数の累計です。

(注2) 海外こどもちゃれんじ講座の延べ在籍数は、中国、台湾における延べ在籍数の合計です。

(中国において通信教育講座事業等を行っている倍楽生商貿(中国)有限公司等2社の決算日が12月末日のため、上記の第2四半期連結累計期間の延べ在籍数は、1月から6月における延べ在籍数となっております。)

(単位 : 万人)

	2021年10月	2022年10月	増減	増減率(%)
高校講座	9	8	▲1	▲15.1
中学講座	33	28	▲5	▲12.9
小学講座	123	114	▲9	▲7.2
こどもちゃれんじ	78	69	▲9	▲10.6
国内合計	243	220	▲23	▲9.4

(単位:万人)

	2021年10月	2022年10月	増減	増減率(%)
中国	103	82	▲21	▲20.3
台湾	10	10	▲0	▲2.6
合計	113	92	▲21	▲18.7

	2021年 9月末	2022年 3月末	2022年 9月末
アリア	27	27	27
くらら	39	39	38
グラニー&グランダ	153	154	159
まどか	57	57	57
ボンセジュール	49	49	50
こごち	15	15	15
リレ	2	2	2
<b>合計</b>	<b>342</b>	<b>343</b>	<b>348</b>
既存施設入居率 (%)	90	90	90

(単位：百万円)

	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	増減
CAPEX	13,291	12,164	▲1,127
(内訳) リース資産	3,636	6,475	+2,838
のれん	2,458	120	▲2,337
その他	7,197	5,568	▲1,628
減価償却費	9,192	9,237	+45

(注1) CAPEXは、2022年3月期 決算短信に記載の「有形固定資産及び無形固定資産の増加額」に基準を合わせて算出しています。

(注2) 減価償却費は、2022年3月期 決算短信に記載の「減価償却費」と「のれんの償却費」の合計に基準を合わせて算出しています。

## 【配当金/配当性向】

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期 (予)
一株当たり配当金(円)	50	50	50	60
配当性向(%)	76.6	154.3	452.9	50.3

本資料に記載されている当社の業績見通し、計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。これらは現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しのみを依拠して投資判断を下されることは、お控えいただきますようお願いいたします。